

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点③4〉

三郷学の視点

15. まちの価値を高める

三郷市は、将来都市像として「きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～」を掲げています。自然、交通、産業、歴史、教育、文化など三郷の資源を活かし選ばれるまちになるためには、資源をみがき、市内外の人々に資源の価値をアピールする必要があります。

また、アピールにあたっては、資源の種類によって異なるアプローチをしていくことが大切です。三郷産の小松菜やお酒等の販売促進については、顧客に手にとってもらい美味しさを知ってもらうこと(トライアル)

が効果的です。市ではmisato style (ミサトスタイル)などの各種イベントに市の地元産品を販売する企業やお店を誘致し、地元産品に関連する

チラシやのぼり等の使用を促し顧客を呼び込んでもらうことによって地元産品の魅力をPRしています。

また、定住促進などの取り組みについては、はじめに、まちの良さを理解してもらい愛着を持ってもらう必要があります。市では三郷の資源を見つめ、魅力を再発見してもらうこと(三郷学)によって選ばれるまち三郷の実現を目指しています。

このように価値を作り出す手法(ブランディング)を上手に活用することによって、まちがより一層輝いてきます。



misato styleに出店するべじ太くん